

れんごう中越地協

第944号2017.10.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越地協が機関会議

第82回地協委員会を開催

連合中越地協は、第82回地協委員会を9月21日(木)長岡市勤労会館で開催した。この地協委員会前の6時から、「マイカー共済 事故解決までの流れについて」と題して、総合生協からは、山田中越支局長と飯田支局長代理、全労

済部の丸山さんから説明を受けた。丁度この日は、秋の全国交通安全運動の初日にあたり、事故防止に役立つテーマとなった。説明では、「交通事故は55秒に1件発生し、怪我は44秒に1人、死亡は128分

3人が集ったこと。平和関係事業などが報告承認された。続いて産別報告では、五十嵐さん(私鉄総連)から組織現状や長時間労働、人手不足

と若年定着率向上に向けた対応の報告。草分さん(新教組)は、教員の多忙化と長時間労働の現状や原因、働きやすい職場づくりに取り組む報告があり、代議員全体で共有した。次に、審議予定事項では、18年度予算承認までの暫定執行、定期総会の告示と女性代議員の積極選出、最低賃金周知街宣キャンペーンと第48回衆議院選挙への対応状況等を審議決定した。地協委員会には、第12回幹事会が開かれた。



に1人が統計からの説明としてあった。また、交通事故を起こした時の救護・通報から全労済への連絡対応や事故後の示談までの流れ等も説明された。説明に引き続き、6時30分から第82回地協委員会が開かれた。委員会では、S J ネット枠選出幹事が、齋藤幹事から猪股幹事に変更したこと、第81回地協委員会以降の主要日程と事業が報告された。この中で、南魚沼市議会議員選挙(10月15日公示、22日投票)について、梅澤道男氏を推薦した事が報告された。また、第25回親善囲碁将棋大会(7月23日)は、将棋の参加者が例年の2倍20人であったこと、2017ワーク&ライフフォーラム in 長岡は、全体会に383人も参加があったことや「そばの種播きとそば打ち体験(7月30日)に10

連合中越地協が緊急に第13回幹事会兼第4回支部代表者会議を開く。地協は、衆議院が9月28日に解散したこと、緊急から、第13回幹事会兼第4回支部代表者会議を開催した。矢島議長は開催にあたり、衆議院解散総選挙新潟県第5区について「大平悦子氏を野党共闘で闘うこととした」等を挨拶で述べた。幹事会では、連合新潟におけるこれまでの対応を確認した。

その後、大平悦子氏が訪れて、地元5区の実態を良く知っていること、エネルギー政策、子育て等の課題について考え方を述べた。

先日、金沢まで行ってきた。北陸新幹線開業もあつてか、市内は多くの観光客が訪れており、特に外国人観光客の多さに驚かせられた。日本への外国人観光客が増えているとはいえず、国際空港から遠い金沢にも多くの方が訪れているのは、北陸新幹線のおかげだろうと思う。ただ、北陸新幹線沿線で経済的効果が出ているのは「金沢」だけのような気がする。▼新潟県内の新幹線沿線にある自治体は、観光客は増えているよ。だが、金沢までとはいかないようだ。様々な企画で

最終的には次回委員会で決定する事となった。また、18年度新潟県予算に関する施策要望書などについて協議された。この他には、新潟県最低賃金が10月1日から778円に引き上げられることの周知として、9月25日から10月6日にかけて県内街宣行動を行う事やチラシを新聞折り込みすることが報告された。また、「デーセント・ワーク世界行動デー」新潟集会を10月10日(火)にホテルニューオータニ長岡NCホールで開くことを確認した。この執行委員会前には、労働金庫の中村常務と高橋部長が、カードローンに関連する説明があった。

連合新潟第4回地協代表者会議が、9月30日(土)午前中に新潟市で開かれた。会議では、連合新潟大会に関する報告、第48回衆議院議員選挙に関する内容の報告、連合新潟青年委員会および同女性委員会総会関係、最低賃金改定周知街宣等の意見交換等が行われた。

質上げ・一時金情報、活動予定・紹介・報告、地域よもやま情報、連合中越のホームページは <http://tyuuetu.net/> 連合中越のメールアドレスは rengo.c@topaz.ocn.ne.jp

サラリーマン川柳(ゆるキャラと 思えば愛しい 肥えた妻) (辞めてから 前の会社の 良さ分かる) (久しぶり 友も老けてて ホツとする) (育児書に 書いてなかった 教育費)

副議長 與口篤也

東蔵王2 <No.260>

観光客を呼び込もうと苦勞している。先日の新聞に、周辺の県との広域連携で呼び込もうという記事が掲載されていた▼戦国武将の強さにあやかっつて、武田信玄(甲府)、真田幸村(上田)そして上杉謙信(上越)の地元がタッグを組んで三国同盟を結び、必勝祈願の旅を企画、スポーツなどの勝負事や受験生らの学業成就、健康祈願などのニーズに添えて、観光客を呼び込もうというのだ。それぞれの武将のネームバリューを活かして、何とか活気づいてほしいと願う。

